



長島ライオンズクラブが長島陸上クラブへ寄付 自己ベストを更新していく

9月9日、長島ライオンズクラブ（小崎春海会長）が長島陸上クラブ（児島将貴監督・60人）へ、青少年の健全な育成を目的に寄付を行いました。同陸上クラブでは、寄付金を活用して、スターティングブロックを購入予定です。

小崎会長は「ボランティアで陸上を教えている児島監督に感銘を受けた。このような活動を支えることにライオンズクラブの意義がある」と話し、浦上柊哉さん（平尾小6年）は「器具を使って自己ベストを更新していきたい」と意気込みました。



東町漁業協同組合要望書 赤潮と関税の早期対策を

9月3日、東町漁業協同組合（山下伸吾代表理事組合長）がトランプ関税対策と赤潮対策に関する要望書を町へ提出しました。

米国は、同組合が行う海外輸出の7割を占め、約27万匹、18億円のブリを出荷しています。関税対策として、同国への輸出継続とその他輸出先への販路拡大を図り、関税の影響軽減への援助と、海外での展示会出店などに係る費用の支援などを要望しました。これに対し川添町長は「必要かつ可能な対策を実行し、県への要望を実施したい」と話しました。



町内の学校給食は地産地消の新米 モチモチふっくら美味しいお米

9月4日から、毎週木曜日、町内小中学校で新米「長島産なつほのか」が給食に並びました。

新米は、提供する町内農家が通常の稲作より早い3月に田植えを行い、収穫の8月末まで、大切に育てた米になります。

10月2日、伊唐小学校では、4回目となる新米を春雨の酢の物やジャージャー豆腐などのおかずと一緒にいただきました。

馬場朝日さん（6年）は「新米は、モチモチふっくらで美味しい。今日のおかずとの相性もバッチリ」と満足した表情でした。



高齢者中央学級講演会 明るい老後、介護、そして覚悟

9月12日、町文化ホールで、町内の高齢者を対象とした高齢者中央学級講演会を開催し、77人が参加しました。

講師には、小説家の永田祥二氏を迎え、「明るい老後、介護、そして覚悟」を演題に、自身の介護経験から得た知識や解決策の一例を紹介し、明るい老後になるよう「ありがと」を発信することの必要性を呼びかけました。

参加した大平田美子さん（指江）は「人を悪い気持ちにしないことの大切さを学んだ」と話しました。